

## 令和 8 年度 韮崎市高齢者見守りネットワーク協議会会議録(要旨)

### 【会議の概要】

1 会議の名称	韮崎市高齢者見守りネットワーク協議会		
2 日時	令和 8 年 6 月 25 日(木) 14 時 20 分～15 時 00 分		
3 場所	韮崎市保健福祉センター2 階 会議室		
4 議題 (協議事項)	(1) 前年度の事業実績について (2) 地域包括支援センターにおける相談対応事例について (3) その他		
5 出席委員	井上委員・中込委員・下條委員・三嶋委員・清水委員・竹野委員・水川委員・樋口委員・山本委員・田村委員・深沢委員・山寺委員・勝原委員・津金委員・横内委員・霜村委員 以上 16 名		
6 公開区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	<input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴人の数	0 人		
8 事務局	【長寿介護課】 保坂課長・古屋・櫻本・山本・宮下 以上 5 名		

### 【協議内容等】

発言者	内容(要旨)
事務局より議案	(1)、(2)を一括して説明
議長	説明事項に対し、委員からの質問・意見を求める。
委員 1	夫婦喧嘩が高じた高齢者虐待の取り扱いは多いが、高齢夫婦は事実を隠したがったり、外部の支援を嫌がる場合が多い。DV や虐待は離別することで安全確保を考えるが、難しい場合は行政や関係機関と情報共有しながら、安全な地域づくりに貢献したい。
委員 2	関わっている高齢者の顎下に痣があることを発見したことがある。家族間の問題だったが、包括支援センターに早めに相談したことで素早く医療受診に繋がったことがある。何かあれば包括支援センターへ繋ぐことが一番良い。
委員 3	資料で虐待認定件数 11 件とあるが、マンパワーは足りているのか。
事務局	虐待件数が月に 2、3 件重なる場合もある。文書、証拠を残す必要があるため、可能な限り時間をかけて会議を重ねている。被虐待者が安全に過ごせるためにモニタリングを経て、終結まで数カ月を要する。時間が足りないと感じることが多いが、包括支援センター、長寿介護課の皆で協力して乗り越えている。
委員 3	今後虐待件数が増えていく可能性がある。この大変な仕事量の行政サービスを維持するために、持続可能な体制作りが重要だと思う。この場でマンパワーを確保することが重要だと意見が出たことを記録に残すことで、少しでもマンパワー確保に反映すると良いと考える。
議長	議案(3)について、委員からの質問・意見を求める。
委員 4	最近、外国籍の方が多く、認知症や虐待の対象者で外国籍の方はいるのか。
事務局	外国籍で認知症の方はいる。言葉の壁や文化の違いで認知症なのかの判断が難しい場合もある。対象者の家族にもニュアンスが伝わりにくい。終末期のことは特に難しい問題になってくると思う。通訳を派遣できる病院や市でも中国語に関しては通訳を依頼できるので、力をお借りしながら対応している。

発 言 者	内 容（ 要 旨 ）
委員4	職員で外国籍の方も増えているので、コミュニケーションの問題や認知症への認識も違いがあるように感じる。外国籍の方に特化したものでもなくて良いので、勉強の機会を作っていただけるとありがたい。
議長	他に質問・意見を求める。
各委員	質問・意見なし。
議長	全ての審議を終了。進行を事務局に戻す。